

9月下旬～12月中旬の各地区の活動

秋は、収穫の季節、スポーツの季節、文化の季節・・・。各地区では、住田の里を五感で味わう行事がたくさん開催され、地区民の方々のつながりがより豊かに実るような秋となりました。

地区	活動内容
世田米	10月 懐かし写真展 展示会
	11月 委員会（懐かし写真部会）
	委員会（伝統行事部会）
大股	視察研修ツアー
	12月 チューリップの球根植え作業
	9月 買い物ツアー・3B体操教室
	10月 買い物ツアー ミニカップ大会
	11月 買い物ツアー・3B体操教室 紺野敏昭先生の講演会
	12月 買い物ツアー イルミネーション設置作業 3B体操教室 イルミネーション点灯式
五葉	9月 さつまいもの収穫作業
	10月 森里海を結ぶフォーラム ミニ運動会&収穫祭 さつまいもの全戸配布
	12月 役員会

地区	活動内容
下有住	10月 甘竹勝郎さん歴史講座 蕎麦の収穫作業 役員会
	11月 クップ大会 ミニフリーマルシェ
	12月 松日橋周辺整備と イルミネーション設置作業 役員会
上高住	10月 役員会（チャレンジ部会） 役員会（楽しみ部会） 役員会（全体会） 秋の八日町市日 裏下山鉱山視察 ハロウィン散策会
	11月 お散歩マップツアー イルミネーション設置作業
	12月 路線バス乗車体験ツアー

カップが秘める結いの力

平成28年の岩手国体のデモンストレーション競技として住田町で開催されたカップ。この時を契機に、町内で急速に広まり、地域や学校で頻繁にカップが開催されるようになりました。

カップの良さは、世代に関係なく参加でき、初めての人でもすぐに楽しめ、役職や立場を超えた対等な選手として一体感のあるチームを作れるところにあるように思います。誰とでもチームを作ることができ、心地よいコミュニケーションが生まれます。

住田の地域の方々が進める地域活動の多く



編集後記

は、誰もが暮らしやすく、楽しく、次世代へと繋いでいく地域づくりにつながっています。そうした地域づくりへの思いが、カップの中に込められているのではないでしょうか。



11月9日（日）下有住地区的カップ大会
(挿絵：木村直紀)

豊かな里の秋を満喫

秋といえば、文化の秋、スポーツの秋、収穫の秋。住田の豊かな文化や地域のつながりのなかで、人々の体も心もお腹も健やかに過ごせる行事が、各地区でたくさん開催されました。

住田を象徴するニュースポーツ・カップ大会などの行事も各地で行われ、地区民同士の親睦が深りました。また、懐かし写真展やフォーラムなどの行事では、地区を超えたつながりも育まれました。さらに、地域の方々が大切に育てた食材を並べて、実りの秋を皆で喜び合う市日やマルシェなども開催されました。

住田の豊かな秋を皆で共有し、地区民同士のつながりが深まったように思います。また、住

田の自然の中での暮らしの美しさと力強さを改めて感じました。



10月12日（土）大股地区的カップ大会

9月～12月の各地区の活動

五つ星ニュース

2024. 第8号

世田米いきいきづくり

懐かし写真展

世田米商店街にあった三沢写真館に所蔵されていたたくさんの懐かしい写真を展示する「懐かし写真展」が、住田町文化・産業まつり作品展で開催されました。昔の町並みや川や畑の風景、お祭りや伝統行事の様子など、地元の人にとって懐かしい写真が展示されました。当時を知らない人にとっても、住田が辿ってきた歴史を知るきっかけになりました。



懐かし写真展

チューリップの球根植え

公園の花壇整備を担当するフラワー部会では、ふれあい河川公園のプランターに花を植えることで、地域に彩りを添えています。この春に植えて咲き終えた花を取り除いたあと、12月にはチューリップの球根植えの作業を行いました。

地域の方々が多く利用する公園や散歩道。春の開花が今から楽しみです。



今年は大粒の球根を、一台のプランターに50粒を植えました

スマイル大股

室内ミニカップ大会

10月9日、住田町体育協会の協力のもと、種山ホールでカップ大会が開催されました。地域活動の担い手が減り、地区民が集まる行事が少なくなる中、気軽に参加できる行事の一つとして、カップ大会が企画されました。

年齢や地区に関係なく、くじでチームが決められましたが、試合とともに会話が弾み、ホールの中はとても賑やかとなりました。

イルミネーション設置作業

今年も大股地区のイルミネーションが始まりました。12月1日の設置作業には地区の男性陣が集まり、配線作業や大工仕事など手慣れた匠の技で、例年よりも早く作業を終えることができました。

12月14日には子どもたちを招いた点灯式も行われ、この冬も大股の夜を彩り、地域の人たちの大切な風景になっています。



くじで決まった5チームがトーナメント形式の試合で熱く競いました



毎年の作業に、参加する方々のチームプレーも光っています

下有住いきいき活動協議会

下有住カップ大会

地区民の運動会として始まった下有住のカップ大会は、今ではすっかり地域の行事として定着しています。11月9日に開催した今年の大会には5チームが参加しました。

飛び入り参加の方をチームに招いたり、小さな子どもにはルールを優しくしたりと、世代を超えた和やかな対戦となりました。天候にも恵まれ、健やかな大会となりました。



家族、地域、仲良しグループ、民生委員など、多様なチームが参加しました

しもありす ミニフリーマルシェ

恒例のしもありすミニフリーマルシェが、11月9日に開催され、今年は地区公民館の建物内にも店を配置し、買い物しやすさ、準備のしやすさが好評でした。屋外でも野菜や物産の出店のほか、子供達の遊び場所にもなりました。町外から参加した店も人気があったほか、売り切れとなる店もあるなど、今年のマルシェも大変好評となりました。



季節の野菜や、住田の名産品、手作りの作品、美味しい飲食物などが並びました

お散歩マップツアー

地元の良さを歩いて見つけるツアーが11月13日に開催されました。身近なはずの地元の景色ですが、普段歩かないような場所を巡ったり、ガイドを聞いて新たな発見をしたりと、いつもとは違った視点で地域を見る機会になりました。

また、身につけた万歩計が1万を超えるなど、健康増進にもつながりました。



役員の一人が、事前にコースを下見して、ガイドもしてくれました

路線バス体験ツアー

運転免許の返納に備え、公共交通の乗り方を学ぶことを目的に始めた路線バス体験ツアーは、今年で3回目となりました。今回は、上有住公民館～川口～陸前高田～大船渡～山脈地、と4種類のバスを乗り継ぐ旅程としました。

料金の払い方、フリー乗車区間の場所など、皆と一緒に学べる体験会となりました。



公共交通を乗り継げば、陸前高田と大船渡を回ることを学びました

五葉地域づくり委員会

サツマイモの収穫祭

初夏に植えたさつまいもが収穫期を迎えた9月29日、地区の方々が集まって収穫作業を行いました。つたを払う、マルチを剥がす、土を掘る、芋を掘り出す、箱に詰める、という流れを率先して分担するところが、五葉地区らしさを感じました。

食害のあった昨年に比べ、今年は豊作となり、後日運動会で焼き芋が振舞われました。



毎年収穫の体験を積み重ね、段取りに手慣れでスムーズに作業が進みました

ミニ運動会＆収穫祭

五葉地区の運動会が10月13日に開催され、世代を超えた賑やかな大会となりました。子供も大人も混ざってできる競技や、お年寄りが楽しめる競技など、「用意できるものを使ってやる」というアイデアから生まれた創造的な種目が繰り広げられました。

見るのも楽しい、参加するのも楽しい大会でした。



種目ごとに出演する人をチーム内で話し合って、競技に送り出します